

**「新北建設事務所建設工事設計業務」  
簡易プロポーザル ヒアリング方式 評価要領**

### 1. 委託先候補の特定方法

- (1) ヒアリング終了後、本要領に基づいて調査表及びヒアリング内容等の評価を行い、その総得点により順位付けを行い、神戸市建築工事設計監理外注委員会（以下「委員会」とする）において委託先候補を特定します。
- (2) 評価委員は7名とし、評価方法、各評価項目の評価基準と配点については、2.から3.に記載の通りとします。
- (3) 評価委員がやむを得ずヒアリングを欠席した場合は、欠席委員は評価しません。
- (4) 評価委員全員の評価点を合算し、90点満点に換算したものを得点とします。
- (5) 神戸市内に本店を置く場合は、得点（90点満点換算後の得点をいう。）に10点を加算します。  
※設計共同体での参加の場合は、代表設計事務所又は構成設計事務所の本店が神戸市内にあり、当該事務所の業務分担率が1者につき30%以上のとき、神戸市内に本店を置くことみなして10点を加算します。なお、ここでいう業務分担率は、委託料の配分割合と同義とします。

### 2. 評価基準

- ・各評価項目について、次の区分による絶対評価とします。

配点評価基準	まったく	ほとんど	あまり	普通	やや	評価できる	極めて
	評価できない	評価できない	評価できない		評価できる		評価できる
満点10点の場合	0	1～2	3～4	5	6～7	8～9	10
満点5点の場合	—	1	2	3	4	5	—

- ・採点は、配点評価基準を参考に0点～満点までのいずれかの整数で評価します。

### 3. 評価項目・配点

#### (1) 評価項目①

- ・設問1及び2に対する提案の発想、解決方法について評価します。

評価項目		評価基準	評価（配点）
設問1	技術提案の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・的確性（与条件との整合性がとれているか等）</li> <li>・独創性（工学的知見に基づく独創的な提案がされているか等）</li> <li>・実現性（提案が理論的に裏付けられており、説得力のある提案となっているか等）</li> <li>・地域の特性の理解</li> </ul>	10点
設問2			10点

#### (2) 評価項目②

- ・設問3（地域産材の活用方法と設計上の工夫）への回答に対し、設問1及び2への提案に対する実現力を評価します。

評価項目		評価基準	評価（配点）
設問3	提案実現力の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問2の提案を踏まえて、地域産木材の活用に対し、実現可能な活用を検討されているか</li> <li>・実現にあたり具体的な工夫が検討されているか</li> </ul>	5点

(3) 評価項目③

- ・設問4に記載の設計体制及び意匠分野の主任担当技術者が携わった代表設計例の実績や設計趣旨等を考慮し、本業務の遂行にあたって十分な設計体制が期待できるか評価します。

評価項目		評価基準	評価（配点）
設問4	設計体制と実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力事務所がある場合、密接な連絡が期待できるか</li> <li>・現場、打合せに積極的な参加が期待できるか</li> <li>・代表設計例における課題解決に対する考え方を通して、知識・ノウハウが十分か また、創意工夫が期待できるか</li> <li>・若手技術者、女性技術者を登用しているか</li> </ul>	10点

(4) 評価項目④

- ・設問1～3の提案内容及びヒアリング内容を踏まえ、総合的に評価します。

評価項目		評価基準	評価（配点）
業務の理解度・取組意欲		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務内容や課題の理解度が高いか</li> <li>・業務に関連する知識が豊富か</li> <li>・意欲、熱意が感じられ、創意工夫が期待できるか</li> <li>・説明、質疑の受け答えが明快であるか</li> </ul>	5点